

栗田寛 （註） 國史學者。天保六年九月十四日常陸國水戸生れ、明治二十一年一月二十六日歿（八三—一九）。守叔業、通稱八十吉、利二郎。號栗里、水城逸人、蕉窓、また栗田比呂志、栗里主人とも署す。石河明善、會澤止冬、齋藤豊田天功の學び、安政五年商家出身にして水戸藩の「廿七札」、彰考館に入りて「大日本史」編修の從事、維新後とての完成に努めた。教部省、大政官修史館、史料編纂掛を経て、明治二十五年帝國大學文科大學教授となる。

著書に『戸籍考』（文久二年七月草稿、元老院藏版）、『勅語講義』  
 （明治二十五年九月）二十六年博文館「通俗教育全書」）、『祭典私攷』  
 （明治二十八年一月）白皇典講究所「講演」附録。再版・大正七年十一月十五日茨城縣神祇會）、『常磐物語』（明治二十年七月五日、十月）二十六年茨城・白新堂）、編纂『修静庵遺稿拾遺』（清生若井遺稿、  
 柳田直敏校訂、明治二十四年四月）二十七年東京洋堂）世多數。

